

第2次総合計画施策評価シート《令和3年度分》										
施策コード		基本目標		2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					
2	—	2	施策目標		2	高齢者支援の充実				
SDGs 連携分野		目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
		目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
		目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化								
										
目指すべきまちの姿		市民と行政が地域で支え合い、高齢者一人ひとりが生涯健康で、仲間や家族とともに、住み慣れた地域で、生き活きと暮らしています。								
●主要施策と概要【PLAN】					この1年間の成果及び反省点【DO】			担当課	評価【CHECK】	
(1) 介護予防・生活支援の総合的な推進【重点施策】 ・介護予防と生活支援の充実のため、介護予防・日常生活支援総合事業、一般介護予防事業の推進を図ります。 高齢者の保健・医療の向上と福祉の増進を包括的に支援するため、地域包括支援センター業務の推進を図ります。					通所型サービスC事業を令和3年9月より実施しました。リハビリ専門職による6か月間の短期集中予防サービスにより、生活機能の向上を図り、サービス終了後は地域のサロン等への支援につなげ、介護給付費の抑制に努めています。			介護高齢課	A	
					成年後見及び権利擁護に関する相談事業や、障がい者に向けての基幹相談支援センター機能も併設する「海部南部権利擁護センター」を海部南部三市町村で打ち合わせを重ね、NPO法人として設立しました。 相談実績は、電話等相談373件、巡回相談9件、弁護士による相談12回を行いました。また、講演会や研修の開催、パンフレットやチラシの作成・配布、ホームページの開設を行いました。			福祉課	A	
(2) 認知症施策の推進【重点施策】 ・国の「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に基づき、認知症初期集中支援推進事業、家族支援、認知症サポーターの養成、認知症カフェの開設支援など認知症施策を総合的に推進します。					認知症地域支援推進員、認知症初期支援チームと協力し、認知症施策に取り組みました。コロナ禍で参集型の認知症カフェ、認知症家族会の開催が難しい中、会場を変更し、リモートで参加できるようにしました。			介護高齢課	B	
(3) 在宅医療・介護の連携強化 ・高齢化の進行に伴う、医療と介護のニーズを持つ高齢者の増加に対応するため、海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターを中心に、在宅医療・介護連携推進事業に取り組みます。					海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）を中心に各事業を推進しました。電子@連絡帳にて新型コロナウイルス感染症発生報告専用掲示板により、介護事業所等と情報共有を図りました。また、令和3年度より3か年、海部医療圏において入退院調整支援事業の取組みを開始しました。			介護高齢課	B	
(4) 生きがいづくりの促進 ・ボランティア活動や福寿会活動、シルバー人材センター活動、その他自主的な活動を促進し、高齢者の幅広い分野での社会参加を支援するとともに、仲間づくりや閉じこもり防止の観点からも、高齢者の生きがいづくりや居場所（地域のふれあいサロン等）づくりを推進します。					福寿会会員数の減少やシルバー人材センター会員数の伸び悩みなどがみられました。活動内容の見直しなど継続した見直しが必要です。			介護高齢課	B	
(5) 地域に密着した介護サービスの充実 ・住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けられるよう、介護保険制度に基づく居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス資源の充実と適正化チェックを推進します。					実地指導を定期的に行い適正化に努めました。なお、市民のニーズに対応した社会資源の確保や創設に努めながらも、介護給付費の抑制にも努める必要があります。			介護高齢課	B	
(6) 高齢者福祉サービス等の提供 ・給食サービス、タクシー利用料助成サービス、緊急通報システムの設置などの在宅生活を支援するための各種福祉サービスを提供します。 ・ささえあいセンター事業を推進します。					高齢者のみ世帯が増える中、在宅生活が安定して送れるようなサービスを実施しました。今後も在宅生活が継続して送れるように支援していきます。			介護高齢課	A	
●施策目標に対する市民満足度						単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)	
高齢者福祉施策の充実						%	19.9	↗		
●成果指標				単位	現状値	各年度の実績値			目標値 (目指す方向性)	
					(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 成年後見センターの設置				か所	0	0	1	1		1
(2) 認知症サポーター養成研修受講者数				人	4,080	5,692	6,184	6,741		5,000 6,000
(4) ふれあいサロン開催箇所数				か所	19	26	26	25		25 30
(4) ささえあいセンター事業活動時間				時間	10,278	11,660	8,241	7,913		12,100 12,400
(6) 給食サービス利用者数（配食サービス・給食サービス利用券）				人	618	622	500	628		680 730
(6) 緊急通報システム利用者数				人	86	90	98	106		100 120
(6) 高齢者等福祉タクシー料金助成利用券申請者数				人	701	935	961	1,058		750 800
(6) 寝具洗濯乾燥消毒サービス申請者数				人	45	47	45	52		55 65

事業 No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1-1)	成年後見センター利用促進事業	福祉課	権利擁護に係る相談、成年後見制度のニーズが増加しており、電話、来所、訪問、巡回などの各種相談や申立手続き支援への対応が必要となっております。専門相談員の増員など成年後見支援及び障がい者基幹相談支援の充実を図るため、三市町村で協議の上、運営方法についても改善しながら進めていきます。	改善
(1-2)	成年後見センター利用促進事業	介護高齢課	核家族化や高齢化を背景に、認知症となる方が増加している中、権利擁護センターをNPO法人に委託し、運営をしています。対象となる高齢者の権利擁護を行っていくために、市民にとって相談しやすい体制づくりに努めるとともに、3市町村で協議の上、運営方法についても改善しながら進めていきます。	改善
(1-3)	介護予防・生活支援サービス事業	介護高齢課	第8期介護保険事業計画に基づき、より一層介護予防事業に重点を置き、要介護認定率の低下につながる取組を工夫し強化しながら、介護サービス給付費の上昇の抑制にも努めていきます。	改善
(1-4)	包括的支援事業	介護高齢課	介護予防・生活支援の総合的な推進のためにも、引き続き、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などの関係機関と連携を図り、包括的支援事業を実施していきます。	現状維持
(2)	認知症予防事業	介護高齢課	認知症の方や介護する家族に向けて、引き続き支援をしています。認知症家族交流会の参加者が固定化されてきている面もありますので、事業所に委託をしている認知症カフェと組み合わせて気軽に参加できるような環境づくりを行うとともに、市民への周知もあわせて行っていきます。	現状維持
(3)	在宅医療・介護連携推進事業	介護高齢課	対象外	対象外
(4-1)	単位老人クラブ育成事業	介護高齢課	会員の減少傾向にある中、引きこもりや認知症の高齢者の増加を防ぐためにも、単位老人クラブ（福寿会）の活動等に対し、引き続き支援をしていきます。	現状維持
(4-2)	シルバー人材センター育成事業	介護高齢課	シルバー人材センターにおいて多くの高齢者が会員として仕事をされており、引き続き補助を行っていくことで高齢者の安定した就業確保を図っていきます。なお、事務の効率化及びコスト削減のため、令和4年度から弥富市シルバー人材センター十四山支所の機能を本所に統合していきます。	改善
(4-3)	ささえあいセンター事業	介護高齢課	ささえあいセンターの活動は、利用会員の増加とともに要望や支援の内容も多岐にわたる中、安全かつ利用会員に喜ばれる事業とするためにも、協力会員向けの研修の実施や新規協力会員の募集を行っていきます。また、関係機関等の意見を聞きながら事業の委託など運営方法について検討していきます。	改善
(6-1)	給食サービス事業	介護高齢課	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増加傾向にある中、介護予防において重要となる「食」について、引き続き支援していきます。	現状維持
(6-2)	緊急通報システム事業	介護高齢課	ひとり暮らし高齢者が増加傾向にあり、事故等の緊急事態に対処する必要があるため緊急通報装置の必要性が高まっています。高齢者の命を守るため、引き続き支援していきます。	現状維持
(6-3)	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	介護高齢課	公共交通機関の利用等が困難な高齢者が増加する中、引き続き移動手段の確保のため支援をしていきます。	現状維持
(6-4)	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	介護高齢課	ひとり暮らし高齢者が増加傾向にある中、寝具の衛生管理等が困難な高齢者等に対し、衛生面や環境面を整える支援として、引き続き取り組んでいきます。	現状維持
(6-5)	ささえあいセンター事業（再掲）	介護高齢課	ささえあいセンターの活動は、利用会員の増加とともに要望や支援の内容も多岐にわたる中、安全かつ利用会員に喜ばれる事業とするためにも、協力会員向けの研修の実施や新規協力会員の募集を行っていきます。また、関係機関等の意見を聞きながら事業の委託など運営方法について検討していきます。	改善
施策の今後の方針【ACTION】		高齢者支援の各施策については、第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画に基づいて推進します。また第9期計画策定に向けアンケート調査を実施します。権利擁護については、成年後見制度などの相談が増加傾向にあり、引き続き海部南部権利擁護センターに業務を委託し、高齢者等の利用拡大と制度の啓発に努めます。		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(1-1)	成年後見センター利用促進事業					福祉課	障害福祉グループ	令和4年7月7日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	2	高齢者支援の充実					○	
	主要施策	1	介護予防・生活支援の総合的な推進						
	主要事業		成年後見センター設置事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	要支援者に対し、安定した日常生活の実現に向けて、権利擁護事業の充実を図ります。					主な協働・関連団体等	蟹江町		
							飛島村		
事業概要	高齢や知的障害などの理由により判断能力が不十分なために、契約や財産管理等で不当な侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれないように成年後見制度を充実させ、法律面や生活面で、要支援者がいつまでも住み慣れた地域で自分らしく安心した生活を続けるために支援します。					関連する個別計画・根拠法令等			
事業の開始・終了	開始年度	令和2	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12, 500	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12, 500	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12, 500	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12, 500
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	

[illegible]

指標の分析	前年度に引き続き、海部南部権利擁護センターに委託したことで、成年後見センターの機能を果たしています。また、法人後見受任ガイドラインを整備し、法人後見としての活動を行いました。
-------	---

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	障がい者計画に基づき成年後見センターを設置しており、令和３年度は障がい者・高齢者等より215件の相談がありました。要支援者の権利擁護のためには必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	三市町村で行っていた弁護士相談会や啓発活動が権利擁護センターの設置により一括で行え、弁護士や行政書士など専門職の件数負担軽減にも繋がっています。また、相談件数分の窓口事務等の軽減にも繋がっています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	権利擁護センターは三市町村で設立したものであり、また、関係機関との連携が必要なため、市が実施すべきです。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	権利擁護センターを設置することは、総合計画における障がい者支援の充実を図るために必要な事業であり、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりに繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
権利擁護に係る相談、成年後見制度のニーズが増加しており、電話、来所、訪問、巡回などの各種相談や申立手続き支援への対応が必要となっております。専門相談員の増員など成年後見支援及び障がい者基幹相談支援の充実を図るため、三市町村で協議の上、運営方法についても改善しながら進めていきます。	改善

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(1-2)	成年後見センター利用促進事業					介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	2	高齢者支援の充実					○	
	主要施策	1	介護予防・生活支援の総合的な推進						
	主要事業		成年後見センター設置事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	認知症などにより判断能力が低下した高齢者などに対し、安定した日常生活の実現に向けて、権利擁護事業の充実を図ります。					主な協働・関連団体等	蟹江町		
							飛島村		
							海部南部権利擁護センター		
事業概要	高齢や知的障害などの理由により判断能力が不十分なために、契約や財産管理等で不当な侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれないように成年後見制度を充実させ、法律面や生活面で、要支援者がいつまでも住み慣れた地域で自分らしく安心した生活を続けるために支援します。					関連する個別計画・根拠法令等	第8期介護保険計画・高齢福祉計画		
事業の開始・終了	開始年度	令和2	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12,500	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12,500	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12,500	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12,500	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	合 計	12,500	合 計	12,500	合 計	12,500	合 計	12,500	
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 令和10年度
(1) 成年後見センターの設置			か所	0	0	1	1		1
						</			

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(1-3)	介護予防・生活支援サービス事業	介護高齢課	地域包括ケアグループ	令和4年7月15日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち	重点施策
	施策目標	2	高齢者支援の充実	○
	主要施策	1	介護予防・生活支援の総合的な推進	
	主要事業		介護予防・生活支援サービス事業	
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	3 すべての人に 健康と福祉を 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	介護予防と生活支援の充実を図ることを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	弥富市地域包括支援センター
							総合事業実施事業所
事業概要	要支援者、基本チェックリスト該当者（事業対象者）を対象に訪問型サービスや通所型サービス等の介護予防・生活支援を実施します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市第8期介護保険事業計画
事業の開始・ 終了	開始年度	平成28	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	通所型サービス 事業支給費	52,152	通所型サービス 事業支給費	73,628	通所型サービス 事業支給費	73,628	通所型サービス 事業支給費	73,628	
	(補助額)	16,950	(補助額)	23,929	(補助額)	23,929	(補助額)	23,929	
	訪問型サービス 事業支給費	9,287	訪問型サービス 事業支給費	9,486	訪問型サービス 事業支給費	9,686	訪問型サービス 事業支給費	9,886	
	(補助額)	3,019	(補助額)	3,082	(補助額)	3,147	(補助額)	3,212	
	介護予防ケアマネジ メント事業支給費	9,093	一般介護予防 事業	7,373	一般介護予防 事業	7,373	一般介護予防 事業	7,373	
	(補助額)	2,956	(補助額)	2,396	(補助額)	2,396	(補助額)	2,396	
			介護予防ケアマネジ メント事業支給費	13,743	介護予防ケアマネジ メント事業支給費	13,743	介護予防ケアマネジ メント事業支給費	13,743	
	(補助額)		(補助額)	4,466	(補助額)	4,466	(補助額)	4,466	
			審査支払手数料	187	審査支払手数料	187	審査支払手数料	187	
	(補助額)		(補助額)	60	(補助額)	60	(補助額)	60	
	合 計	70,532	合 計	104,417	合 計	104,617	合 計	104,817	
	(補助額)	22,925	(補助額)	33,933	(補助額)	33,998	(補助額)	34,063	
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 令和10年度
指標の分析									
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点				評価の結果				
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				要支援者、基本チェックリスト対象者（事業対象者）が 要介護状態等になることを防ぐために必要な事業です。				
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				高齢者の増加に伴い、各サービス事業支給費及びケアマ ネジメント事業支給費の増加が見込まれるため、費用対 効果等を見ながらサービスや事業を見直していく必要が あります。				
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				利用者や事業所の負担を考えると、市が実施すべきで す。また、市が指定した事業所のみサービスを提供でき ます。				
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				介護予防・生活支援サービスや一般介護予防事業を推進 していくことで、要介護状態等になることを予防し、介 護給付費の抑制につながります。				
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見							方向性		
第8期介護保険事業計画に基づき、より一層介護予防事業に重点を置き、要介護認定率の低下につながる取組を工夫し強化しながら、介護サービス給付費の上昇の抑制にも努めていきます。							改善		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(1-4)	包括的支援事業					介護高齢課	地域包括ケアグループ	令和4年7月15日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	2	高齢者支援の充実					○	
	主要施策	1	介護予防・生活支援の総合的な推進						
	主要事業		包括的支援事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する								
	3すべての人に健康と福祉を 17パートナーシップで目標を達成しよう								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができることを目的とし、弥富市地域包括支援センター等の業務を行うことで、高齢者の保健・医療の向上と福祉の増進を包括的に支援します。					主な協働・関連団体等	弥富市地域包括支援センター		
							弥富市ささえあいセンター		
							在宅医療・介護連携推進支援センター		
事業概要	包括的支援事業として、介護予防事業やその他の適切な事業が包括的に実施されるために介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、高齢者虐待への対応などの権利擁護業務、包括的・継続的マネジメント、地域ケア会議の運営他、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービスの体制整備を推進します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期介護保険事業計画		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	包括的支援事業委託料 (認知症初期集中支援チーム除く)	36,000	包括的支援事業委託料 (認知症初期集中支援チーム除く)	36,000	包括的支援事業委託料 (認知症初期集中支援チーム除く)	36,000	包括的支援事業委託料 (認知症初期集中支援チーム除く)	36,000		
	(補助額)	20,790	(補助額)	20,790	(補助額)	20,790	(補助額)	20,790		
	生活体制整備事業	12,509	生活体制整備事業	13,803	生活体制整備事業	13,803	生活体制整備事業	13,803		
	(補助額)	7,224	(補助額)	7,971	(補助額)	7,971	(補助額)	7,971		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合 計	48,509	合 計	49,803	合 計	49,803	合 計	49,803	合 計	49,803	
(補助額)	28,014	(補助額)	28,761	(補助額)	28,761	(補助額)	28,761	(補助額)	28,761	
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2)	認知症予防事業	介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち	重点施策
	施策目標	2	高齢者支援の充実	○
	主要施策	2	認知症施策の推進	
	主要事業		認知症予防事業	
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	3 すべての人に 健康と福祉を 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	今後認知症高齢者等の増加が見込まれるなかで国の「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に基づき、認知症施策を推進することで認知症予防や、認知症を発症した本人、その家族の意思を尊重した在宅生活を継続することを目的とします。						主な協働・ 関連団体等	認知症初期集中支援チーム
								認知症地域支援推進員
事業概要	認知症初期集中支援推進事業、家族支援、認知症サポーターの養成とともに、認知症カフェを開設します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等	新オレンジプラン
								弥富市第8期介護保険事業計画
事業の開始・ 終了	開始年度	平成29	年度	終了年度	令和10	年度		

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	認知症初期集中支援チーム	5,000	認知症初期集中支援チーム	5,000	認知症初期集中支援チーム	5,000	認知症初期集中支援チーム	5,000
	(補助額)	2,887	(補助額)	2,887	(補助額)	2,887	(補助額)	2,887
	認知症総合支援事業費	340	認知症総合支援事業費	758	認知症総合支援事業費	758	認知症総合支援事業費	758
	(補助額)	197	(補助額)	333	(補助額)	333	(補助額)	333
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	5,340	合 計	5,758	合 計	5,758	合 計	5,758
(補助額)	3,084	(補助額)	3,220	(補助額)	3,220	(補助額)	3,220	

[illegible]

指標の分析	令和3年度の受講者は557人でした。伸び率としては横ばいですが、目標数を上回っています。引き続き、認知症を発症した方を地域で見守る役割であるサポーターを増やしていきたいと考えます。
-------	--

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	「あいちオレンジタウン構想第2期アクションプラン」によると、認知症高齢者の大幅な増加が見込まれており、国の「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に基づき、継続した事業の実施が必要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	平成30年度より認知症地域支援推進員を市内の介護保険事業所に委託することで、地域で相談できる体制を整えました。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	認知症の本人及び家族に関する情報連携には市が関与すべきであり、運営については市内の5事業所に委託しました。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	認知症施策の推進は総合計画における認知症予防、支援の為に必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
認知症の方や介護する家族に向けて、引き続き支援をしていきます。 認知症家族交流会の参加者が固定化されてきている面もありますので、事業所に委託をしている認知症カフェと組み合わせて気軽に参加できるような環境づくりを行うとともに、市民への周知もあわせて行っていきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3)	在宅医療・介護連携推進事業	介護高齢課	地域包括ケアグループ	令和4年7月15日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち	重点施策
	施策目標	2	高齢者支援の充実	
	主要施策	3	在宅医療・介護の連携強化	
	主要事業		在宅医療・介護連携推進事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	3 すべての人に 健康と福祉を 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	高齢化の進行に伴う、医療と介護のニーズを持つ高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することを目的とします。					主な協働・関連団体等	在宅医療・介護連携推進支援センター
事業概要	医療と介護を必要とする高齢者が住み慣れた自宅や地域で自分らしい生活を続けられるように、海部津島7市町村により、「海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター」を共同設置し、在宅医療・介護連携推進事業を推進します。また、海部医療圏の医療・介護関係者等から相談を受け付け、医療と介護関係者の連携調整や医療と介護の切れ目ない連携を推進します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期介護保険事業計画
事業の開始・終了	開始年度	平成30	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	在宅医療・介護連携 推進事業	5,249	在宅医療・介護連携 推進事業	5,815	在宅医療・介護連携 推進事業	5,815	在宅医療・介護連携 推進事業	5,815
	(補助額)	3,032	(補助額)	3,358	(補助額)	3,358	(補助額)	3,358
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	5,249	合 計	5,815	合 計	5,815	合 計	5,815
(補助額)	3,032	(補助額)	3,358	(補助額)	3,358	(補助額)	3,358	

[illegible][illegible]

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	評価対象外
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	評価対象外
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	評価対象外
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	評価対象外

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
対象外	対象外

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4-1)	単位老人クラブ育成事業	介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち	重点施策
	施策目標	2	高齢者支援の充実	
	主要施策	4	生きがいのづくりの促進	
	主要事業		単位老人クラブ育成事業	
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	3 すべての人に 健康と福祉を 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	高齢者の生きがいのづくりと健康づくりに資する活動・事業を推している福寿会に対し、明るい長寿社会の実現と健康福祉の向上に寄与するものとし、その活動・事業の促進を図ります。					主な協働・関連団体等	弥富市社会福祉協議会
事業概要	高齢者の福祉の増進に資するため、単位老人クラブ（福寿会）の活動等に対し補助金を交付します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期高齢者福祉計画
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	単位老人クラブ 補助金	5,376	単位老人クラブ 補助金	5,460	単位老人クラブ 補助金	5,460	単位老人クラブ 補助金	5,460
	(補助額)	1,476	(補助額)	1,675	(補助額)	1,675	(補助額)	1,675
	老人クラブ連合 会補助金	1,020	老人クラブ連 合会補助金	1,020	老人クラブ連 合会補助金	1,020	老人クラブ連 合会補助金	1,020
	(補助額)	302	(補助額)	311	(補助額)	311	(補助額)	311
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合 計	6,396	合 計	6,480	合 計	6,480	合 計	6,480	
(補助額)	1,778	(補助額)	1,986	(補助額)	1,986	(補助額)	1,986	

[illegible]

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	高齢者の生きがいがづくりと健康づくりに資する活動・事業を行っている64箇所の単位老人クラブに対し、活動を継続するために必要な支援です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	福寿会の活動が円滑に行えるようにするためには、効率的な支援制度です。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	単位老人クラブの活動には、地域での見守りとして高齢者の引きこもり防止や安否確認も含まれており、地域活動支援として市が実施することが妥当と考えます。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	単位老人クラブの育成は総合計画に掲げる高齢者の生きがいがづくり促進のため必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
会員の減少傾向にある中、引きこもりや認知症の高齢者の増加を防ぐためにも、単位老人クラブ（福寿会）の活動等に対し、引き続き支援をしていきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(4-2)	シルバー人材センター育成事業					介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	2	高齢者支援の充実						
	主要施策	4	生きがいづくりの促進						
	主要事業		シルバー人材センター育成事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	高齢者が地域社会の中で生きがいを持って働ける場や機会を提供することを目的として、高齢者の就業機会確保の受け皿であるシルバー人材センターに対し、円滑な運営を支援します。					主な協働・関連団体等	弥富市シルバー人材センター		
事業概要	高齢者の就業機会確保の受け皿であるシルバー人材センターに対し、運営費及び事業費を補助します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期高齢者福祉計画		
							高齢者等の雇用の安定に関する法律		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	弥富市シルバー人材 センター補助金	19,402	弥富市シルバー人材 センター補助金	20,402	弥富市シルバー人材 センター補助金	20,402	弥富市シルバー人材 センター補助金	20,402
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合 計	19,402	合 計	20,402	合 計	20,402	合 計	20,402	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

[illegible]

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	令和3年度末において、182名の会員登録があり、高齢者の安定した就業確保の為にシルバー人材センターへの運営支援は必要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	高齢化を背景に年々業務量が増加している中、補助額は据え置きとしています。
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか	多くの高齢者の就労機会が確保できるのは、シルバー人材センターだからこそであり、市が補助することが妥当です。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	高齢者が安定して就業できるようシルバー人材センターを支援することは、総合計画に掲げる高齢者の生きがいづくりのためにも必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
シルバー人材センターにおいて多くの高齢者が会員として仕事をされており、引き続き補助を行っていくことで高齢者の安定した就業確保を図っていきます。なお、事務の効率化及びコスト削減のため、令和４年度から弥富市シルバー人材センター十四山支所の機能を本所に統合していきます。	改善

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4-3)	ささえあいセンター事業	介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月14日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち	重点施策
	施策目標	2	高齢者支援の充実	
	主要施策	4	生きがいがづくりの促進	
	主要事業		ささえあいセンター事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	3 すべての人に 健康と福祉を  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	地域社会に貢献したい高齢者（協会員）にささえあいセンターを通じて要介護認定利用者又は申請中の対象者や障がい者手帳受給者（利用会員）へ困り事などへの手助けを行うことで、地域に貢献したい高齢者への生きがいがづくりの場を提供します。						主な協働・ 関連団体等	弥富市ささえあいセンター
事業概要	利用したい人（利用会員）、協力できる人（協会員）が「ささえあいセンター」に会員登録し、コーディネーターが利用会員の困り事ニーズに応じて協力を手配し、サービスを提供します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市第8期高齢者福祉計画
事業の開始・ 終了	開始年度	平成28	年度	終了年度	令和10	年度		

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	ささえあいセンター 利用料助成金	759	ささえあいセンター 利用料助成金	738	ささえあいセンター 利用料助成金	738	ささえあいセンター 利用料助成金	738
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	車両管理費	549	車両管理費	703	車両管理費	703	車両管理費	703
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	1,308	合 計	1,441	合 計	1,441	合 計	1,441
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(４) ささえあいセンター事業活動時間	時間	10, 278	11, 660	8, 241	7, 913		12, 100	12, 400

指標の分析	コロナ禍で一部支援を縮小した内容があったため、活動時間は減少しましたが、概ね要望に対する支援ができました。また、定期的な活動もあり、高齢者の生きがいつくりの時間を作ることができたと考えます。
-------	---

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	ささえあいセンター事業は、介護保険適応サービス外の生活支援サービスを行っており、それらを必要とする利用者にとってはなくてはならない事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	家族形態の変化に伴い、生活支援サービスの多様なニーズに対応するためには、より多くの協力会員が必要になります。そのため広報誌やSNSを活用し、募集を行っています。
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか	市直営の運営事業のため、次年度以降に委託事業等へ移行することも念頭に調査・検討を行っていきます。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	ささえあいセンター事業は、総合計画に掲げる生きがいつくりの促進及び高齢者福祉サービス等の提供に必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
ささえあいセンターの活動は、利用会員の増加とともに要望や支援の内容も多岐にわたる中、安全かつ利用会員に喜ばれる事業とするためにも、協会員向けの研修の実施や新規協会員募集を行っていきます。また、関係機関等の意見を聞きながら事業の委託など運営方法について検討していきます。	改善

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(6-1)	給食サービス事業	介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち	重点施策
	施策目標	2	高齢者支援の充実	
	主要施策	6	高齢者福祉サービス等の提供	
	主要事業		給食サービス事業	
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	3 すべての人に 健康と福祉を 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	独居・高齢者のみ世帯に対し、給食サービスを実施することにより、健康保持及び孤独感の解消を図り、また、安否確認を目的とし、高齢者が安心した在宅生活が継続できるようにします。					主な協働・関連団体等	
事業概要	高齢者や重度の障がい者の方に、自宅へのお弁当の配達サービス又は総合福祉センター・十四山総合福祉センター内喫茶室における飲食代の一部を助成します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期高齢者福祉計画
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	給食サービス事業委託料	11,669	給食サービス事業委託料	12,229	給食サービス事業委託料	13,461	給食サービス事業委託料	14,693
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	利用券印刷製本費	109	利用券印刷製本費	115	利用券印刷製本費	115	利用券印刷製本費	115
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合 計		11,778	合 計	12,344	合 計	13,576	合 計	14,808
(補助額)		0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度	
(6) 給食サービス利用者数 (配食サービス・給食サービス利用券)	人	618	622	500	628		680	730	

指標の分析	配食サービスについては、夕食も選択できるようにしたことにより利用者が大きく増加しました。 また、コロナ禍で両福祉センターで利用可能な給食チケットの利用者数は横ばいですが、利用方法の特例（臨時休館時の分を翌月にも利用できるようにした）を設けたことにより利用枚数は大きく増加しました。
-------	---

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	給食サービスは自炊できない人に対し、栄養バランスの良い食事が提供でき、また給食サービスは外出の促しにもつながり、多くの需要があります。更に配食サービスは見守り活動の一環でもある為、必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	見守り活動及び健康的な食生活の確保のためには効果的な支援制度です。
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか	事業の一部を民間委託しており、適正に運営されています。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	高齢者のみ世帯の「食」を支える事業として継続した事業が必要であり、総合計画に掲げる高齢者支援の充実に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増加傾向にある中、介護予防において重要となる「食」について、引き続き支援していきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(6-2)	緊急通報システム事業					介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	2	高齢者支援の充実						
	主要施策	6	高齢者福祉サービス等の提供						
	主要事業		緊急通報システム事業						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	ひとり暮らし高齢者等の急病、事故等の緊急事態に対処するため緊急通報用機器等を貸与し、日常生活上の不安を軽減し、円滑な救助を受けられるようにします。					主な協働・関連団体等			
事業概要	所得税非課税世帯で、ひとり暮らし高齢者や要介護3から要介護5該当者を抱える高齢者世帯、ひとり暮らしの身体障がい者手帳1級から3級までの方に、緊急通報用機器等を貸与します。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期高齢者福祉計画		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	緊急通報装置 借上料	184	緊急通報装置 借上料	334	緊急通報装置 借上料	334	緊急通報装置 借上料	334	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	福祉電話保守 委託料	389	福祉電話保守 委託料	346	福祉電話保守 委託料	346	福祉電話保守 委託料	346	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	福祉電話架設 料	38	福祉電話架設 料	38	福祉電話架設 料	38	福祉電話架設 量	38	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	緊急通報業務 委託料	2,792	緊急通報業務 委託料	2,046	緊急通報業務 委託料	2,455	緊急通報業務 委託料	2,455	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
電信電話料	47	電信電話料	47	電信電話料	47	電信電話料	47		
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	3,450	合 計	2,811	合 計	3,220	合 計	3,220		
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0		
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 令和10年度
(6) 緊急通報システム利用者数			人	86	90	98	106		100 120
指標の分析	電話回線を必要としない機種の導入とひとり暮らし高齢者の増加により、設置者数が徐々に増えており、目標数値を上回りました。								
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点				評価の結果				
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				ひとり暮らし高齢者が増加傾向にあり、急変時や事故等の緊急事態に対処する必要があることから、緊急通報装置の設置が必要です。				
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				ひとり暮らし高齢者の増加、家族関係の変化に伴い、見守りや駆け付けサービスを主眼においたサービスへ徐々に移行するとともに経費を削減しています。				
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				24時間体制で緊急時見守りや相談に対応できるように民間事業者に委託しています。				
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				緊急通報装置を設置することで円滑な救助要請等が可能となり、高齢者の安全・安心につながります。				
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見							方向性		
ひとり暮らし高齢者が増加傾向にあり、事故等の緊急事態に対処する必要があるため緊急通報装置の必要性が高まっています。高齢者の命を守るため、引き続き支援していきます。							現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(6-3)	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち	重点施策
	施策目標	2	高齢者支援の充実	
	主要施策	6	高齢者福祉サービス等の提供	
	主要事業		高齢者等福祉タクシー料金助成事業	
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する			
	3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	バス等の一般交通機関を利用することの困難な在宅の高齢者及び免許返納者に対し、病院や買い物などへの移動手段としてタクシーを利用することにより外出を支援し、福祉の向上を図ります。						主な協働・関連団体等	
事業概要	要支援・要介護認定者・事業対象者及び75歳以上の免許返納者が、外出時にタクシーを利用する場合に限り、料金の基本料金及び迎車料金を助成します。なお、利用者には年間36枚チケットを交付します。						関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期高齢者福祉計画
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度		

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	タクシー料金 助成費	8,547	タクシー料金 助成費	9,160	タクシー料金 助成費	9,160	タクシー料金 助成費	9,161		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	利用券印刷製 本費	140	利用券印刷製 本費	144	利用券印刷製 本費	144	利用券印刷製 本費	145		
	(補助額)		(補助額)	20	(補助額)	20	(補助額)	20		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
合 計	8,687	合 計	9,304	合 計	9,304	合 計	9,306			
(補助額)	0	(補助額)	20	(補助額)	20	(補助額)	20			
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(6) 高齢者等福祉タクシー料金助成利用券申請者数			人	701	935	961	1,058		750	800
指標の分析	申請者数は毎年増加しており、目標数値を大きく上回っています。									
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				令和3年度には1,058名の利用がありました。日常生活において移動が困難な高齢者にとっては、外出支援の為に必要な事業です。					
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				一般タクシーと福祉タクシーを合わせて、令和3年度に利用できるタクシー事業者は25社の登録となり、利用者の選択肢が更に増え、利便性が向上しました。					
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				タクシー料金の一部助成を行うため、市が実施すべきです。					
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				高齢者による交通事故や要介護認定者、事業対象者などの支援が必要な高齢者が増加する中、移動手段の確保として必要な事業です。					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見							方向性			
公共交通機関の利用等が困難な高齢者が増加する中、引き続き移動手段の確保のため支援をしていきます。							現状維持			

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(6-4)	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業					介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち					重点施策	
	施策目標	2	高齢者支援の充実						
	主要施策	6	高齢者福祉サービス等の提供						
	主要事業		寝具洗濯乾燥消毒サービス事業						
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	3 すべての人に健康と福祉を 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、在宅で生活する要介護度3～5に該当する者、重度の身体障がい者で、寝具の衛生管理等が困難な高齢者等に対し寝具の洗濯乾燥消毒サービスを提供することにより、健康で衛生的な在宅生活の支援を行います。					主な協働・関連団体等			
事業概要	概ね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、在宅で生活する要介護度3～5の該当者、重度の身体障がい者に対し、掛布団・敷布団・毛布2枚を1式とし、年2回寝具の丸洗いを実施します。なお、世帯の所得状況により利用者負担（300円／回）をいただく場合があります。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期高齢者福祉計画		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	寝具洗濯乾燥消毒 サービス事業委託料	282	寝具洗濯乾燥消毒 サービス事業委託料	480	寝具洗濯乾燥消毒 サービス事業委託料	480	寝具洗濯乾燥消毒 サービス事業委託料	480	
	(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(6-5)	ささえあいセンター事業（再掲）	介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	2	【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち	重点施策
	施策目標	2	高齢者支援の充実	
	主要施策	6	高齢者福祉サービス等の提供	
	主要事業		ささえあいセンター事業（再掲）	
SDGs 連携分野	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	3 すべての人に健康と福祉を  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

■事業内容【PLAN】

事業目的	独居・高齢者のみ世帯が増えるなか、介護保険認定申請中又は利用中の人、各種障がい者手帳受給者等で、生活の援助を受けたい人に対して、生活の援助をできる人が介護保険適用サービス以外の軽度の生活支援サービスを中心に援助することで在宅での生活が継続できるようにすることを目的とします。						主な協働・関連団体等	弥富市包括支援センター
								弥富市ささえあいセンター
事業概要	利用したい人（利用会員）、協力できる人（協会員）が「ささえあいセンター」に会員登録し、コーディネーターが利用会員の困りごとニーズに応じて協会員を手配し、サービスを提供します。						関連する個別計画・根拠法令等	弥富市第8期高齢者福祉計画
事業の開始・終了	開始年度	平成25	年度	終了年度	令和10	年度		

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	ささえあいセンター利用料助成金	759	ささえあいセンター利用料助成金	738	ささえあいセンター利用料助成金	738	ささえあいセンター利用料助成金	738		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	車両管理費	548	車両管理費	703	車両管理費	703	車両管理費	703		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	1,307	合 計	1,441	合 計	1,441	合 計	1,441			
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0			
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(4) ささえあいセンター事業活動時間			時間	10,278	11,660	8,241	7,913		12,100	12,400
指標の分析			コロナ禍で一部支援を縮小した内容があったため、活動時間は減少しましたが、概ね要望に対する支援ができました。また、定期的な活動もあり、高齢者の生きがいがいつくりの時間を作ることができたと考えます。							
■事業の評価【CHECK】										
項目		評価視点				評価の結果				
必要性		・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				ささえあいセンター事業は、介護保険適応サービス外の生活支援サービスを行っており、それらを必要とする利用者にとってはなくてはならない事業です。				
効率性		・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				家族形態の変化に伴い、生活支援サービスの多様なニーズに対応するためには、より多くの協力会員が必要です。そのため、広報誌やSNSを活用し、募集を行っています。				
妥当性		・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				市直営の運営事業のため、次年度以降に委託事業等へ移行することも念頭に調査・検討を行っていきます。				
施策への貢献度		・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				ささえあいセンター事業は、総合計画に掲げる生きがいつくりの促進及び高齢者福祉サービス等の提供に必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がります。				
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見								方向性		
ささえあいセンターの活動は、利用会員の増加とともに要望や支援の内容也多岐にわたる中、安全かつ利用会員に喜ばれる事業とするためにも、協力会員向けの研修の実施や新規協力会員の募集を行っていきます。また、関係機関等の意見を聞きながら事業の委託など運営方法について検討していきます。								改善		